

## 「第1回 症例解析から始める実践薬物治療報告会」の開催について

### はじめに

日頃、皆さんは、薬物治療が患者さんにとって有効かつ安全に遂行されるために全力で取り組まれていると思います。最近では特に、地域医療への拡大が進められる中、病院内とは異なる環境下で患者さんの薬物治療の質を維持し高めるための新たな努力をされていると思います。その症例を、学会発表や学術誌への論文投稿によって、他の人たちに発信していくことは、情報の共有、情報の蓄積、ひいてはより良い薬物治療の実践のために必要なことと思います。

一方、皆さんは、個々の患者さんの薬物治療の症例について、どのようにまとめ、学会発表し、論文を書くのか、わからない、自信がない、と思われてはいませんか？このような背景のもとに、薬物治療に携わる薬剤師が、職域に関係なく、経験した症例の発表や投稿ができるようにし、実践された薬物治療の情報が広く共有される場を作ることを目的に本報告会を開催することに致しました。第1回目ですので、基調講演では、薬剤師の視点に基づく症例報告の取り組み方をご紹介します。講演内容は『アプライド・セラピューティクス』誌（15巻、2020年）に掲載されております。

URL: [https://www.jstage.jst.go.jp/article/appliedtherapeutics/15/0/15\\_13/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/appliedtherapeutics/15/0/15_13/_article/-char/ja)

更に、具体的な症例報告では、感染症、血液疾患、消化器疾患、循環器疾患、神経・精神疾患について、ご講演者の方々が経験された薬物治療を症例報告の形でご紹介いただきます。

本報告会に参加され、日頃経験されている貴重な薬物治療の症例について、発表する方法、論文を書く方法を基礎から学んでみませんか？さらに、症例報告による薬物治療情報を広く共有する場に参加して見ませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 【開催概要】

- 開催日時： 7月4日(日) 13:00～17:30
- 開催方法  
Webex meetingsによるオンラインセミナー  
**ライブ配信（講演、質疑応答）です！**  
申込者の方々は後日学会 HP から、2週間、無料で、講演動画をオンデマンド視聴できます。
- 参加申込方法  
公募による事前申込制です。お申込みは下記【申込】をご参照ください。  
お申込みいただいた方には折返し、参加費のお振込みに関するメールをお送りします。  
会費：正会員2000円、非会員4000円、学生無料  
参加申込開始：4月30日（金）  
参加申込締切：~~6月20日（日）~~ **6月25日（金）に延長しました！**
- 参加者定員：80名
- 参加方法  
お申込みが完了した方に、開催日の数日前に Webex meetings への招待メールとパスワードをお送りします。開催日の当日、パスワード入力によりご参加ください。  
申込者に、事前に講演資料 pdf をメールでお送りします。

- 研修認定単位（予定）
  - 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師講習会認定単位
  - 日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修認定単位
  - 日本薬剤師研修センター(G01)研修認定単位
  - 薬局共創未来人財育成機構薬剤師生涯研修センター(G18)研修認定単位
  - 本学会の科学的、合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ認定指導者の認定単位
  - ※研修単位はライブ配信（講演、質疑応答）を申し込まれ、参加された方に交付されます。
  - オンデマンド配信の視聴に対しては、研修認定単位は交付されません。

- ご参加にあたっての注意事項
  - 認定単位交付のために、以下についてご協力とご理解をお願いします。
  - 講演視聴中、90分間あたり3回、キーワードを示します。日本薬剤師研修センターおよび薬局共創未来人財育成機構薬剤師生涯研修センターの単位認定シールを希望される方は、次の二つの条件を満たす必要があります。
  - 1. 報告会終了後、グーグルフォームアンケートへ上記キーワードをご入力頂きます。
  - 2. Webex meetings参加の際、必ずお申込みの際にご登録したお名前とメールアドレスでご参加ください。システムログの記録と照合致します。ご参加の記録が確認出来ない場合は単位認定シールを発行できませんことをご了承ください。

#### 【申込】

お申込みはこちらからお願いします。

[https://rosebuds.xsrv.jp/learning/?page\\_id=876](https://rosebuds.xsrv.jp/learning/?page_id=876)

#### 【プログラム（予定）】

##### 1. 開会のあいさつ 【動画配信】

13:00~13:15

緒方 宏泰先生（日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会理事長、  
明治薬科大学名誉教授

テーマ：報告会の趣旨について

##### 2. 基調講演 【ライブ配信】

座長：林 宏行先生（日本大学 薬学部）

13:20~14:10（講演）、14:10~14:20（質疑応答）

演者：高橋 雅弘先生（明治薬科大学 薬物治療学研究室）

テーマ：薬剤師が行う薬学的視点に基づく症例報告の取り組み方

##### 3. 症例報告（前半） 【ライブ配信】

座長：越前 宏俊先生（明治薬科大学）、川瀬 祐子先生（株式会社トレジャー たから薬局）

(1) 14:25~14:45（講演）、14:45~14:55（質疑応答）

演者：花井 雄貴先生（東邦大学医療センター大森病院 薬剤部）

【感染症領域】テーマ：系統的アプローチを用いた感染症治療への薬学的介入

(2) 14:55~15:15 (講演)、15:15~15:25 (質疑応答)

演者：小川 直紀先生 (医療法人沖繩徳洲会 千葉西総合病院薬剤科)

【感染症領域】テーマ：バンコマイシンによる急性腎障害発症例に対するテイコプラニンの適用

(3) 15:25~15:45 (講演)、15:45~15:55 (質疑応答)

演者：篠崎 浩司先生 (東千葉メディカルセンター 薬剤部)

【感染症領域】テーマ：敗血症性ショック患者に対する薬剤師の関わり

～薬物療法の適正化に向けて～

### 3. 症例報告 (後半) 【ライブ配信】

座長：三原 潔先生 (武蔵野大学 臨床薬学センター)、永井 尚美先生 (武蔵野大学 薬学研究所)

(4) 15:55~16:15 (講演)、16:15~16:25 (質疑応答)

演者：松本 千明先生 (日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部)

【血液・消化器領域】テーマ：ピロリ菌陽性の特発性血小板減少性紫斑病へのアプローチ

(5) 16:25~16:45 (講演)、16:45~16:55 (質疑応答)

演者：久保田 洋子先生 (日本薬科大学薬学部 社会薬学分野)

【循環器領域】テーマ：高血圧症例の外来治療における副作用発生への薬局薬剤師の介入事例

(6) 16:55~17:15 (講演)、17:15~17:25 (質疑応答)

演者：山本 将太先生 (京都大学病院 薬剤部)

【神経・精神疾患領域】テーマ：神経・精神疾患症例の薬物治療で注意する点をもう一度考える

### 4. 閉会の挨拶

17:25~17:30 藤田 朋恵 (獨協医科大学)

#### 【運営】

『アプライド・セラピューティクス』誌編集委員会

日本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会リモート企画・運営

ワーキンググループ

【問い合わせ先】 [apusera.shourei@gmail.com](mailto:apusera.shourei@gmail.com)

担当：花井 雄貴、藤田 朋恵

以上